

## 進捗状況の概要

「静大発“ふじのくに”創生プラン」は、事業協働地域を静岡県とし、県内の若年層人口定着、定着に必須である魅力ある雇用の創出実現に向けた取組を県、県内全 35 市町や企業・団体等と協働して実施するものである。地域のニーズに合致する人材育成を行い、COC+参加校の県内就職率を 10 ポイント上げ 55%にするほか、事業協働機関との連携で、インターンシップ参加者数(319 から 650 人)、寄附講座数(1 から 8 講座)や共同研究数(110 から 140 件)を増やす。

以下、平成 27 年度の状況を述べる。

### 【実施体制】

静岡大学に「地(知)の拠点企画推進室」(室長:教育担当理事)を設置し、COC+推進コーディネーターほかスタッフを採用し、本事業の実施体制を整備した。平成 28 年 2 月 16 日に第 1 回 COC+連携協議会及び本事業キックオフシンポジウム(参加者数 210 名)を開催した。また、連携協議会の前後に、事業目標達成に向けた現状の把握と計画確認のため、COC+参加校による連絡会を開催した。

また、事業への意識啓発や事業協働機関の拡大を図るため、広報用パンフレット、ホームページ等を作成した。事業協働機関には、メールマガジン、ニュースレターの定期配信を開始した。

### 【教育プログラム】

#### ○ 全学必修「地域志向科目」

選定時の留意事項を踏まえ、学士課程全学生が履修する必修科目の充実を図るための計画を策定した。特に、2 年次以降に履修する地域志向科目に、少人数単位のアクティブラーニングを導入するため、受入れ先候補となる事業協働機関との調整を開始した。

#### ○ 地域創造学環

平成 28 年度入学者受入れに向けた準備と並行して、本教育プログラムの趣旨等を県内高校を主な対象に広報した。e-ポートフォリオ活用率向上のため、学務情報システムの整備を実施したほか、学環担当教職員に対し、アクティブラーニングの経験や技量把握のための調査を実施するとともに、学習到達度判定のための基準ルーブリックへの理解度を深めるための研修を行った。

#### ○ 産業イノベーションコース(大学院修士課程)

本コースの趣旨に対する地元企業等の意見・要望を聞く目的で、アンケート調査を実施し、135 社から回答を得た。また、プロジェクトチームによる新規事業立ち上げ体験や経営情報学の実践に関する授業の試行版を実施した。

### 【インターンシップ】

インターンシップ実施スキームの整理と改善を行った。具体的には、学内専用サイト上での情報の一元化や募集情報の掲載・検索等の利便性向上のための「インターンシップ@しずおか」のリニューアルである。また、学生向けインターンシップ・ハンドブックの作成、企業へのインターンシップに関する説明と受入れ要請を実施した。COC+参加校については、現状と単位要件における課題や問題点を確認した。

### 【その他】

フューチャーセッションの企画・実施に不可欠なファシリテーション能力養成のための講座を実施したほか、「静岡で活躍し続けるには？」を考えるためのフューチャーセッションを開催した。

県内企業との共同研究推進のため、産学連携リーフレットを作成し、配布した。

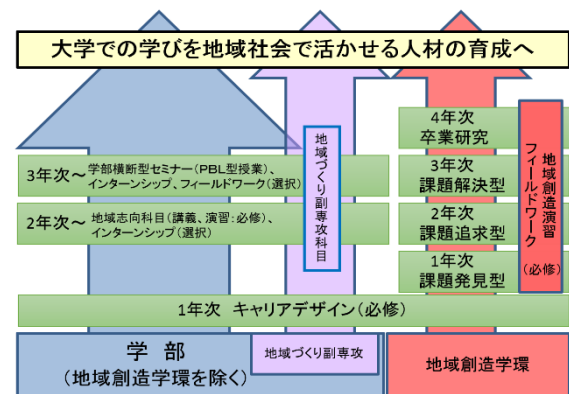


図 学士課程における地域志向教育の全体像